

平成28年12月21日

①のちを輝かせ ②なびと ③ナー ④ームワークを育てよう

学校だより

第9号



北九州市立今町小学校

〒803-0862 小倉北区今町三丁目19番1号

TEL 093-592-4900

校長 堤 雅章

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語A	文章を読むことに慣れ、基本的な定着を図る必要がある。日々の漢字の練習、読書、辞書をひく等の基本的な学習を繰り返す必要がある。
国語B	書くという観点で記述する問題に課題がある。長文に慣れ、どこが聞かれていることか、必要なことは、何かを判断して文章を書く力が必要である。
算数A	計算力については、取組の成果が少しずつであるが、減法の計算や他の領域についても定着を図る必要がある。
算数B	問題の意味を考え、理由も含め記述していくことに課題がある。資料の中で、問題を解決するために必要なことを判断する力が必要である。

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>友達の話や意見を最後まで聞くことができると答えた児童は100%だったのに対し、自分の考えや意見を発表することが得意と答えた児童が約48%だった。また、自分には良いところがあるか、将来の夢や目標を持っているかという質問に対し、肯定的な回答が全国平均を下回っていた。これらのことから、自分に自信がない、自己肯定感がやや低いといった傾向が見られる。</li> <li>平日の就寝時刻が、10時より前と答えた児童は24%しかいなかった。また、就寝時刻が11時以降と答えた児童が約30%であるなど、生活習慣の改善が必要である。</li> <li>学習習慣に関して、自分で計画を立てて勉強をする、授業の予習・復習をすると回答している児童が全国平均を下回っているため、家庭とも連携しながら家庭学習への自主的な取り組みを習慣づけていく必要がある。</li> <li>読書は好きだと答えた児童は全国平均より高く、93%であった。毎朝の読書や昼休みの図書館開館の効果が見られている。</li> </ul>

### 3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

- 授業では、ペアや少人数での話し合い活動を積極的に取り入れ、自分の考えをもったり、発信したりすることへの抵抗を解消していく。
- 国語や算数の基礎的な力を付けていくために、給食の準備時間や5校時開始前の時間を有効に活用した漢字や計算の反復練習に継続的に取り組む。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭学習・生活がんばりカードの継続的取り組みと項目を改訂することによって、子どもが意欲的に取り組みながら生活習慣の改善を意識できるようにする。また、保護者にも啓発し、保護者からの励ましのコメントを増やしていきながら、回収率を上げ、生活習慣の改善を図る。
- 家庭学習チャレンジハンドブックの回収を毎月1回継続していく。